

**「傷害の防止」～交通事故の危険予測と回避～**

本単元で育成する資質・能力

「考え・決める力」

日時 令和元年 7月 10日(水) 4校時(11:50~12:40)  
場所 呉市立郷原中学校  
学年 第2学年A組(男子 15名, 女子 15名) 計 30名

**単元について**

本単元では、交通事故や自然災害などによる傷害は人的要因や環境要因及びそれらの相互のかかわりによって発生することを理解する。また、交通事故などによる傷害を防止するためには、危険を予測し、それぞれの要因に対して適切な対策を行うことが必要なことについても学習する。

中学生期には自転車乗車中の事故が多く発生することを、具体的な事例などを適宜取り上げ、車両の特性、交通法規、周囲の状況に応じた行動についての知識と実践力を養う。また、自然災害による傷害については、例えば、地震による家屋の倒壊や転倒などが原因となって生じること、津波や土砂災害等による二次災害によっても生じることを取り上げる。さらに、日頃から災害時の安全の確保に備えておくこと、地震発生時や災害後、周囲の状況を的確に判断し、冷静・迅速・安全に行動すること、テレビ、ラジオ等による災害情報を把握することが大切であることに気づかせていく。

**生徒について**

本学年の生徒に対して行った事前アンケートでは、「保健の授業は自分の生活に大切」と感じている生徒は100%、「学習したことを日々の生活に活かしていますか」の質問に対して、「はい」と答えた生徒は93%であった。この結果から、保健の授業に対しての意欲が高く、得た知識を日常生活でも意識している生徒が多い。

本単元に関わっては、「交通マナーを守れている」と答えた生徒は98%であった。しかし一方で、地域からの情報として、「道路に広がって歩いている」などの声もある。また、けが防止の知識として、「危険な場所に近づかない」、「声かけをする」、「周囲を確認する」、「校内を走らない」などの回答があった。さらには、「事故やけがは、どういう時に起こると思いますか」の質問に対して、「気が抜けている時」、「見えない時」、「決まりを守っていない時」、「体調が悪い時」、「歩きスマホ」、「急いでいる時」、「災害が起こった時」といった回答があり、危険な状況の予測についての思考も持っていることがうかがえる。「交通事故に遭わないために大切にすること」については、「いろんなことを想定する」、「ゆとりを持ち譲り合う」、「交通ルールを守る」、「命の大切さを考える」との回答があった。

**指導について**

本単元の指導にあたっては、生徒の意識と実際の行動とが繋がっていない(意識と行動にずれがある)という実態を踏まえ、「つかむ」の場面で、自身の行動の想起・振り返りを行うことで、自身の課題としてとらえさせる。また、映像と視覚教材を活用し、具体的に危険予測の場面を提示することで興味・関心、また思考する意欲を高め、主体的な課題解決へとつなぐ。さらに、仲間と考えを交流することで、自分では気づけなかった視点にも触れさせる。「まとめる」の場面では、事前アンケートでの生徒の回答例を提示し、本時で学習したことを生かして、その原因や具体的な対策に迫らせ、実際の行動に結びつくきっかけとする。

## 単元の目標と評価規準

### ＜単元の目標＞

- (1) 交通事故や犯罪被害，自然災害による傷害の防止について関心を持ち，学習活動に意欲的に取り組み，自身の生活において実践できる。【関心・意欲・態度】
- (2) 交通事故や犯罪被害，自然災害による傷害の防止について，課題の解決をめざして，知識を活用した学習活動などにより，科学的に考え，判断し，それらを表すことができる。【思考・判断】
- (3) 交通事故や犯罪被害，自然災害による傷害の防止について，課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解することができる。【知識・理解】

### ＜評価規準＞

ア 健康・安全への 関心・意欲・態度	イ 健康・安全についての 思考・判断	ウ 健康・安全についての 知識・理解
①傷害の防止について，健康に関する資料を見たり，自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ②傷害の防止について，課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	①傷害の防止について，健康に関する資料等で調べたことを基に課題や解決の方法を見付けたり，選んだりするなどして，それらを説明している。 ②傷害の防止について，学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり，関係を見付けたりするなどして，筋道を立ててそれらを説明している。	①交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因について理解したことを言ったり，書き出したりしている。 ②自然災害による傷害の防止について理解したことを言ったり，書き出したりしている。

## 指導と評価の計画(全9時間)

次	時	学習内容(時数)	評 価			評価規準	評価方法
			関	思	知		
一	1	傷害の発生要因			○	ウ①交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因について理解したことを言ったり，書き出したりしている。	行動観察 学習カード
	2	交通事故の発生要因			○		
二	3	交通事故の危険予測と回避 【本時】				イ①傷害の防止について，健康に関する資料等で調べたことを基に課題や解決の方法を見付けたり，選んだりするなどして，それらを説明している。  イ②傷害の防止について，学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり，関係を見付けたりするなどして，筋道を立ててそれらを説明している。	行動観察 学習カード
	4	交通環境の整備		○			
	5	身近な交通環境を考える		○			
三	6	犯罪被害の防止			○	ウ①犯罪被害の防止について	行動観察

					理解したことを言ったり、書き出したりしている。	学習カード
四	7	自然災害の一次災害と二次災害		○	ウ②自然災害による傷害の防止について理解したことを言ったり、書き出したりしている。	行動観察 学習カード
	8	自然災害による傷害の防止	○		ア①自然災害による傷害の防止について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	
五	9	共に生きる	○		ア②災害後の心の傷害の防止について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	行動観察 学習カード

## 本時

### (1) 本時の目標

- ・歩行中及び自転車乗車中の危険を予測できる。【思考・判断】  
 (・安全な交通環境について考えることができる。【思考・判断】)

### (2) 本時の評価規準

- ・自転車乗車中の危険を予測し回避行動を考えることができている。【思考・判断】  
 (・安全な交通環境について考えることができている。【思考・判断】)

### (3) 本時の深い学びをしている生徒の具体的な姿

- ・個人思考の場面で、危険を予測し、その回避と安全な交通環境について記述できている。
- ・グループ交流や全体交流の場面で、自分が考えたことを仲間にわかりやすく説明できている。

### (4) 準備物

教科書（東京書籍「新編 新しい保健体育」）、学習ノート（東京書籍）、スクリーン、プロジェクター、DVD（危険予測トレーニング）  
ワークシート

### (5) 本時①の展開

学習活動	指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て ★深い学びをしている生徒の具体的な姿	評価規準	評価方法
<b>本時の課題を把握する。〔5分〕</b>			
1 挨拶・忘れ物確認 2 前時の復習 ○交通事故の原因 「人的要因」「環境要因」 「車両要因」	◇発表により前時の内容を確認し、知識の定着を図るとともに本時の思考につなげる。 ◆前時のノートや教科書を参照させる。		

3 本時のめあての確認			
本時のめあて：「交通事故の回避を考えよう」			
<b>危険予測と回避を考える。〔35分〕</b>			
<p>4 未然防止について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○何が必要か考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・危険予測</li> <li>・交通環境整備</li> </ul> </li> </ul> <p>5 危険予測について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○予測のポイントを考える。</li> <li>○映像で考える。 「危険予測トレーニング」 被害者・加害者・自転車乗車中の視点で。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人思考</li> <li>・班での思考</li> </ul> </li> <li>○発表・意見交流をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇交通環境は次時考えていくことを伝える。</li> <li>◇どんなところに視点を持つべきか考えさせる。</li> <li>◇起こりうる事故と、どこで判断するかを考えさせる。</li> <li>◆視点に気づかせ、その視点で考えさせる。</li> <li>◇事故を防ぐためには、どうするべきであったか考えさせる。</li> <li>◇加害者にもなり得ることをおさえる。</li> <li>★視点を定め、危険を予測し、その回避について記述できている。</li> <li>◇仲間の意見を聞くことで、自分と違う視点を見つけさせる。</li> <li>★自分が考えたことを仲間にわかりやすく説明できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車乗車中の危険を予測し回避行動を考えることができている。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>【思考・判断】</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・行動観察</li> </ul>
<b>本時の活動の振り返り。〔10分〕</b>			
6 本時のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まあ大丈夫だろう」ではなく、「もしかしたら」を考える。</li> <li>・予測したことを行動へとつなげる。</li> </ul>		
7 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇仲間の考えと自分の考えを比較したり、自分の考えが深まったりしたことについて振り返らせる。</li> </ul>		
8 挨拶			

## 板書計画

### 3. 交通事故の危険予測と回避

めあて：交通事故の回避を考えよう

#### ○交通事故の原因

「人的要因」「環境要因」「車両要因」

#### ○危険予測

- ・車が止まらず来るかもしれない
- ・信号を無視するかもしれない
- ・曲がった先に人がいるかもしれない
- ・こちらに気づいていないかもしれない

「まあ大丈夫だろう」×

「もしかしたら」◎ → これが「予測」  
予測したことを行動に！

意見記入・掲示等スペース

#### ●本時の次時の展開（参考）

学習活動	指導上の留意事項（◇） ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て ★深い学びをしている生徒の具体的な姿	評価規準	評価方法
<b>本時の課題を把握する。〔5分〕</b>			
1 挨拶・忘れ物確認 2 前時の復習 ○危険予測  3 本時のめあての確認	◇発表により前時の内容を確認し、知識の定着を図るとともに本時の思考につなげる。 ◆前時のノートや教科書を参照させる。		
本時のめあて：「交通事故を防ぐ交通環境を考えよう」			
<b>交通環境を考える。〔35分〕</b>			
4 交通環境について Q. 何があるかな？ ・信号、標識、歩道、ガードレール、横断歩道			

<p>○ワークシートをもとに考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人思考</li> <li>・班での思考</li> </ul> <p>○発表・意見交流をする。</p>	<p>◇それぞれの場において、事故を防ぐためには、何が必要か考えさせる。</p> <p>◇設置場所についての視点ももたせる。</p> <p>◆登下校中の道路や日常生活の中の交通環境をイメージさせる。</p> <p>★危険を予測し、安全な交通環境について記述できている。</p> <p>◇仲間の意見を聞くことで、自分と違う視点を見つけさせる。</p> <p>★自分が考えたことを仲間にわかりやすく説明できている</p>	<p>・安全な交通環境を考えることができている。</p> <p>【思考・判断】</p>	<p>・ワークシート</p> <p>・行動観察</p>
<p><b>本時の活動の振り返り。[10分]</b></p>			
<p>5 本時のまとめ</p>			
<p>・交通環境が整うことで事故防止につながる。</p> <p>・交通環境が整っていない場所は注意が必要。</p>			
<p>6 振り返り</p>	<p>◇仲間の考えと自分の考えを比較したり、自分の考えが深まったりしたことについて振り返らせる。</p>		
<p>7 挨拶</p>			